

Newsletter 媒体基礎資料

日本薬物動態学会の概要

「薬物動態学」とは、医薬品を中心とした様々な化学物質の体内での動きと、薬理効果や毒性発現の関連性を追究する学問分野です。本学会は、創薬（新医薬品の創製）および医薬品の適正使用における薬物動態研究の発展性を先見し、1985年に創立されました。

Newsletter データ

日本薬物動態学会では、「ニュースレター」を年に6回（偶数月の下旬）発行しています。

ニュースレターは、薬物動態研究に関連した有意義な情報を発信しています。

薬物動態研究の先駆者である偉大な研究者や現役の研究者からのメッセージ及び薬物動態研究の方法論の解説など、内容は多岐にわたります。

現在、ニュースレターには以下の記事があります。

展望

Researcher Spotlight（薬物動態研究者のエッセイ：会員専用）

NEW FACE - NEW POWER（薬物動態の若手研究者の紹介：会員専用）

アドメサークル 日本の薬物動態研究組織（国内での研究組織の紹介：会員専用）

学会 道しるべ（学会紹介及び報告：会員専用）

企業で生きる薬物動態の基礎講座（会員専用）

技術の窓（薬物動態関連の新技术紹介：会員専用）

DMPK 著者から読者へのメッセージ

技術・研究材料紹介（企業広告）

Newsletter 発行概要

■バナー広告（メルマガ）

広告料金 : 1回 50,000円（消費税別）

配信日 : 偶数月25日

申込締切日 : 配信前月10日

原稿締切日 : 配信前月25日

掲載カ所 : 4カ所（バナー画像付きバナー、テキスト広告）

バナーサイズ : 横130×縦300ピクセル

データ仕様 : JPEG

■投稿記事広告

広告料金 : 1回 50,000円（消費税別）

配信日 : 偶数月25日

原稿締切日 : 発行日の2ヶ月前を予定（後日、著者校正あり）

執筆分量 : 文字だけの場合400字詰め原稿用紙6枚相当以内です。文字だけではなく図・表・写真を挿入されても結構です。

その際は、図、表あるいは写真を別に添付し、挿入箇所を指示してください。

※著作権は発刊後、記事の著作権は日本薬物動態学会に帰属いたします。ご了承くださいませようお願い申し上げます。

メールマガジン 広告

[メールマガジンイメージ]

1. メールマガジン バナー広告

JSSX 日本薬物動態学会
The Japanese Society for the Study of Xenobiotics

このメールが正しく表示されない場合は、[ここをクリックしてブラウザでご覧ください。](#)

日本薬物動態学会ホームページ
第31回ワークショップ/第11回ショートコース
NEWSLETTER Volume 32, Number 2, 2017

ニュースレター編集委員会より

2017年度も間もなく一ヶ月が経とうとしています。新天地にて活躍され始めた方も多数いらっしゃると思います。年々激動の波が激しくなっている世の中、高い志を持って日々の研究活動に邁進していきたいものです。今回も多岐にわたるメニューをご用意いたしましたので、ご堪能して頂けたら幸いです。

さて、本号では、「NEW FACE - NEW POWER」は東し株式会社 坂井知津香先生よりマイクロミニピグについて、「技術の窓」は国立成育医療研究センター研究所再生医療センター 阿久津英憲先生よりミニ豚の作製について、ご投稿頂きました。3回シリーズの2回目となる「企業で活躍する薬物動態の基礎講座」は第一三共株式会社 中山慎太郎先生より、創薬段階での関係部署との協調について引き続き解説して頂きます。「アドマーケット」も3回シリーズの2回目ですが、若手医科大学薬学部 寺島 潤先生より薬物代謝動態学講座の研究紹介を頂戴します。また、5月17日(水)より学術総合センターにて開催されます日本薬物動態学会第31回ワークショップ/第11回ショートコースのご案内もあります。どうぞお楽しみください。

[NEW FACE - NEW POWER]

- フタが導いてくれた多くの出会い。東し株式会社 医薬研究所 安全性研究室 薬物動態グループ 坂井知津香

[アドマーケット]

- Cytochrome P450と適応 若手医科大学薬学部 寺島 潤

[企業で活躍する薬物動態の基礎講座(ニュースレター編)]

2. メールマガジン テキスト広告

ニュースレター 編集委員会より

2017年度も間もなく一ヶ月が経とうとしています。新天地にて活躍され始めた方も多数いらっしゃると思います。年々激動の波が激しくなっている世の中、高い志を持って日々の研究活動に邁進していきたいものです。今回も多岐にわたるメニューをご用意いたしましたので、ご堪能して頂けたら幸いです。

さて、本号では、「NEW FACE - NEW POWER」は東し株式会社 坂井知津香先生よりマイクロミニピグについて、「技術の窓」は国立成育医療研究センター研究所再生医療センター 阿久津英憲先生よりミニ豚の作製について、ご投稿頂きました。3回シリーズの2回目となる「企業で活躍する薬物動態の基礎講座」は第一三共株式会社 中山慎太郎先生より、創薬段階での関係部署との協調について引き続き解説して頂きます。「アドマーケット」も3回シリーズの2回目ですが、若手医科大学薬学部 寺島 潤先生より薬物代謝動態学講座の研究紹介を頂戴します。また、5月17日(水)より学術総合センターにて開催されます日本薬物動態学会第31回ワークショップ/第11回ショートコースのご案内もあります。どうぞお楽しみください。

[NEW FACE - NEW POWER]

- フタが導いてくれた多くの出会い。東し株式会社 医薬研究所 安全性研究室 薬物動態グループ 坂井知津香

[アドマーケット]

- Cytochrome P450と適応 若手医科大学薬学部 寺島 潤

[企業で活躍する薬物動態の基礎講座(ニュースレター編)]

- 扉を開ける 企業で活躍する薬物動態の基礎講座(ニュースレター編)
- 扉を開ける 企業で活躍する薬物動態の基礎講座(ニュースレター編)
- 扉を開ける 企業で活躍する薬物動態の基礎講座(ニュースレター編)

[技術の窓]

- 「ミニピグ」の創製と研究への応用 国立成育医療研究センター 再生医療研究センター 阿久津英憲先生より

[アドマーケット]

- 企業で活躍する薬物動態の基礎講座(ニュースレター編)

企業広告

東し株式会社

「NEW FACE - NEW POWER」は東し株式会社 坂井知津香先生よりマイクロミニピグについて、「技術の窓」は国立成育医療研究センター研究所再生医療センター 阿久津英憲先生よりミニ豚の作製について、ご投稿頂きました。3回シリーズの2回目となる「企業で活躍する薬物動態の基礎講座」は第一三共株式会社 中山慎太郎先生より、創薬段階での関係部署との協調について引き続き解説して頂きます。「アドマーケット」も3回シリーズの2回目ですが、若手医科大学薬学部 寺島 潤先生より薬物代謝動態学講座の研究紹介を頂戴します。また、5月17日(水)より学術総合センターにて開催されます日本薬物動態学会第31回ワークショップ/第11回ショートコースのご案内もあります。どうぞお楽しみください。

3. ホームページ バナー広告

JSSX 一般社団法人日本薬物動態学会
The Japanese Society for the Study of Xenobiotics

Newsletters Volume 32, Number 4, 2017

はじめに

気候変動の影響が、初夏の猛暑、空梅雨、冷夏、ゲリラ豪雨と天候不順の日が続いております。会員の皆様は、この要を如何にお過ごしでしょうか。さて、今号のニュースレターも多岐にわたる内容にてお送りいたします。

前号に引き続きニュースレターの「扉」には、DIS (ディレクターズ・イニシアチブ・セッション) の活動方針を掲載して頂きました。今号は、NEW MODALITY DIS (次世代薬、治療DIS) (橋本薬科大学 宗原 隆先生)、有効性・安全性評価DIS (東京大学 橋本隆之先生)、Microphysiological system DIS (千葉大学 岡崎秀一先生)、臨床薬理・薬物治療DIS (九州大学 家入一郎先生) の各委員会からです。また、東京薬科大学の岸本久道先生には、企業での経験を活かしたアカデミアでの研究活動に対する熱い思いを「NEW FACE - NEW POWER」に寄稿して頂きました。また、「学会進めるべ」には京都大学の樋口淳子先生より、京都リーサーチパークで開催されました「薬物代謝・薬理学国際シンポジウム」の様子を写真を交えて紹介して頂きました。「技術・研究材料紹介(企業広告)」は、富士通九州システムサービスからDDI Simulator[®]による薬物相互作用の定量的予測についてご紹介頂きました。活動のお供に、少しでも皆様のお役にたてば幸いです。

特長記事のご紹介

NEW FACE - NEW POWER

はじめに、このような貴重な機会を与您とさせていただきます。ニュースレター編集委員会の先生方に厚く御礼申し上げます。私は、東京薬科大学薬学部・薬物動態制御学教室(主宰:井上勝央教授)の助教として、薬物動態研究及び教育活動に取り組んでいます。大学の職に就く以前は、製薬企業にて薬物動態に関する研究開発に携わっていました。本報では、企業と大学の両方の経験から得た、私なりの研究の意義を「NEW FACE - NEW POWER」に寄稿させていただきます。今回の研究活動に対する果敢を述べさせていただきます。

学会 進めるべ

「学会 進めるべ」では、薬物動態という枠組みにとらわれず、日本薬物動態学会の会員にとって役に立つと思われる学術情報を取り上げ、それらの学術情報は学会の分野や専攻などをも考慮していただくことを目的としています。薬物動態研究者は、産学のいずれにおいても、単なる薬物の動態の枠組みを超えて、薬効評価や薬理学的な多岐にわたる活動が期待されています。そのような状況の中で、会員諸氏にとって役に立つ学術情報を紹介できるコーナーを目指しています。会員のみならず興味のある学術情報についての情報をお知らせいただければ、このコーナーで取り上げさせていただきます。ぜひお寄せください。

技術・研究材料紹介(企業広告)

このコーナーは、薬物動態研究の技術や研究材料を提供する企業から広告として紹介させていただきます。新たな技術や製品情報に接することにより、研究がより効率よく進むことを期待して頂けたら幸いです。

企業広告

東し株式会社
高橋先生CNS/MSSシステム: Xevo TQ-XSを新たに導入しました。その特長をご紹介します。☞

日本ウォーターズ

4. ホームページ テキスト広告

JSSX 一般社団法人日本薬物動態学会
The Japanese Society for the Study of Xenobiotics

Newsletters Volume 32, Number 4, 2017

はじめに

気候変動の影響が、初夏の猛暑、空梅雨、冷夏、ゲリラ豪雨と天候不順の日が続いております。会員の皆様は、この要を如何にお過ごしでしょうか。さて、今号のニュースレターも多岐にわたる内容にてお送りいたします。

前号に引き続きニュースレターの「扉」には、DIS (ディレクターズ・イニシアチブ・セッション) の活動方針を掲載して頂きました。今号は、NEW MODALITY DIS (次世代薬、治療DIS) (橋本薬科大学 宗原 隆先生)、有効性・安全性評価DIS (東京大学 橋本隆之先生)、Microphysiological system DIS (千葉大学 岡崎秀一先生)、臨床薬理・薬物治療DIS (九州大学 家入一郎先生) の各委員会からです。また、東京薬科大学の岸本久道先生には、企業での経験を活かしたアカデミアでの研究活動に対する熱い思いを「NEW FACE - NEW POWER」に寄稿して頂きました。また、「学会進めるべ」には京都大学の樋口淳子先生より、京都リーサーチパークで開催されました「薬物代謝・薬理学国際シンポジウム」の様子を写真を交えて紹介して頂きました。「技術・研究材料紹介(企業広告)」は、富士通九州システムサービスからDDI Simulator[®]による薬物相互作用の定量的予測についてご紹介頂きました。活動のお供に、少しでも皆様のお役にたてば幸いです。

特長記事のご紹介

NEW FACE - NEW POWER

はじめに、このような貴重な機会を与您とさせていただきます。ニュースレター編集委員会の先生方に厚く御礼申し上げます。私は、東京薬科大学薬学部・薬物動態制御学教室(主宰:井上勝央教授)の助教として、薬物動態研究及び教育活動に取り組んでいます。大学の職に就く以前は、製薬企業にて薬物動態に関する研究開発に携わっていました。本報では、企業と大学の両方の経験から得た、私なりの研究の意義を「NEW FACE - NEW POWER」に寄稿させていただきます。今回の研究活動に対する果敢を述べさせていただきます。

学会 進めるべ

「学会 進めるべ」では、薬物動態という枠組みにとらわれず、日本薬物動態学会の会員にとって役に立つと思われる学術情報を取り上げ、それらの学術情報は学会の分野や専攻などをも考慮していただくことを目的としています。薬物動態研究者は、産学のいずれにおいても、単なる薬物の動態の枠組みを超えて、薬効評価や薬理学的な多岐にわたる活動が期待されています。そのような状況の中で、会員諸氏にとって役に立つ学術情報を紹介できるコーナーを目指しています。会員のみならず興味のある学術情報についての情報をお知らせいただければ、このコーナーで取り上げさせていただきます。ぜひお寄せください。

技術・研究材料紹介(企業広告)

このコーナーは、薬物動態研究の技術や研究材料を提供する企業から広告として紹介させていただきます。新たな技術や製品情報に接することにより、研究がより効率よく進むことを期待して頂けたら幸いです。

企業広告

東し株式会社
高橋先生CNS/MSSシステム: Xevo TQ-XSを新たに導入しました。その特長をご紹介します。☞

日本ウォーターズ

投稿記事広告

[ニュースレタートップイメージ] 左側メニューより誘導



[投稿記事広告ページイメージ]



ニュースレターメールマガジン内で初めの 200 字を掲載し誘導



投稿記事広告

■ 広告申し込み先 ■

株式会社メディコム

東京都中央区日本橋茅場町 2-13-8

Tel : 03-6264-8288

メール : nakandakari@medicomnet.jp

担当 : 仲村 渠 (なかんだかり)